

宝モノ 音楽&リズム教室 療育プログラム



音楽を通して感性・社会性・心身の発達を促すことで…

言葉

人の
関わり

情緒の
安定

場面の
切り替え

が育れます♪

リズムに乗って自己表現をすることは、自分の気持ちを表出する力にもつながります。その表現を集団の中で認め合うことで、自信がつき「自己肯定感」も高まっていきます。自分のやりたいことを伝えたり決めたりするためのいっぽを踏み出す力を養うことが

音楽療育では楽しくできるのです！



令和6年度こども家庭庁から示された5領域すべてに適合しており
以下のようなスキルが身に付きます

コミュニケーション
言語

発語を促す
他者を待つ・応援する
気持ちを合わせる
他者と動きやリズムを
合わせる

運動・感覚

有酸素運動
楽器による感覚刺激
リズム感覚を
身につける

人間関係 社会性

社会性スキルの
トレーニング
視覚と聴覚で覚える
「5つのルール」
楽器・おもちゃ・本
の共有

認知・行動

音と音楽による
非言語的指示がわかる
集団行動トレーニング
集中力を鍛える

健康・生活

通所リズム
生活リズムの定着
座位の保持
体を作る

1日のスケジュール

月の前半

16:00開始

1. オープニングセッション
2. リトミックボール
3. リトミック
4. パネルシアター

～休憩～



5. 音楽サークット
6. 歌
7. オリジナル体操
8. エンディングセッション

絵描き歌は
みんなに大人気！

月の前半と後半で
プログラムが
変化いたします！



楽しんでいただけるよう
手作りしている時もあります！

月の後半

16:00開始

1. オープニングセッション
2. リトミックボール
3. リトミック
4. 絵描き歌・リズム遊び

～休憩～

5. 音楽サークット



6. 歌

7. オリジナル体操



8. エンディングセッション

サークットのコースも
毎月変わります♪



1 オープニングセッション



ピアノとドラムに合わせて「自分の名前をはっきり言う」「簡単な質問に答える」等の言葉を引き出す目的としています。

また、療育の流れをつかむために視覚的な情報として写真を用いて紹介することで、見通しをつけやすくし、情緒の安定を図る工夫をしています。



お名前を言えなかった子が、自分の番が回ってくる
感覚が分かり次第にお名前が言えるようになった



2 リトミックボール



バランスボールに乗って発語しながらバウンドしたり模倣します。

<曲を聴く→考える→行動する>という「即時反応」により脳に刺激を与え、体勢を維持することで筋力やバランス感覚を高めることを目的としています。



感情表現がほとんどなかった子が、歌を歌ったり
振り付けをまねするようになった



3 リトミック



曲に合わせて表現をする「即時反応」を行うことで「思考力」「想像力」「表現力」を高めるとともに、体を大きく動かしながら運動機能を向上させることを目的としています。



気持ちの切り替えが出来なかった子が、音楽に合わせて
活動をスムースに切り替えられるようになった



4 パネルシアター



音楽に合わせて歌や物語を興味・関心をもって観ることができる様にしたものです。「集中力」「想像力」「理解力」を高めることを目的としています。



多動が強く落ち着いて集団活動に参加できなかった子が
椅子に座って活動に参加できるようになった



5 リズム遊び



ピアノに合わせて決められたリズムを演奏する。
自分が演奏し注目されることで「達成感」を得ることや、他者と合わせて演奏する「協調性」を養うことを目的としています。



自分の世界で遊ぶことが多かった子が、
他者意識が芽生え、人との関りが増えてきた



6 絵描き歌



歌を歌いながら絵を描く造形リトミックとも呼ばれます。

歌に合わせて絵を描くことで「即時反応」の向上や、スタッフが描いたものをまねして描くことにより、模倣力も養われます。



就学前で不安もあったが、前のお手本を見ながら描くことで板書をする自信につながった



7 音楽サークット



音楽に合わせたサークットの手順を「模倣」から「理解」につなげていきます。知育コーナーでは簡単な問題をクイズ形式で行っています。就学児からは二人一組で行い、ボールの受け渡しやリズム遊びを行います。「協調性」を身につけ、楽しみながら順番を待つことで「多動を減少する」目的があります。



歩き回っていた多動の子が、椅子に座ってみんなと一緒に活動できるようになった



8 歌（発声・季節の歌）



言葉をはっきり言えるように言語の練習も兼ねています。歌詞の音読を行い、言葉の明瞭化を図ります。「お話」の時間を設け歌詞の内容を理解できるように、文字や絵など視覚的な情報を用いて、内容を想像できるように工夫しています。



発語が全くなかった状態から、発声（叫ぶ）や
喃語（ぱぱぱ・ばばば・あーなど）が出てくるようになった



9 オリジナル体操



音楽に合わせ、スタッフを模倣しながらストレッチをしたり、体の動かし方を学んだりします。体感とバランス感覚を高め、発語しながら体を動かすことで気持ちの発散もでき「情緒の安定」にもつながります。



いじめもあって精神的に不安定だった子が、
安定して他の子の面倒を見て一緒に遊べるようになった



10 エンディングセッション



お名前呼びや簡単な質問、早口言葉や遅口言葉などで言語を引き出すことも目的としています。



単語や二語文しか話さなかった子が「～です」など
語彙が増え会話が成立するようになってきた